

# 令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 音楽 ） 学年（ 1 学年 ）

## 目指す授業

- 音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
- 音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。



## 授業・アンケート等の課題分析

- 授業アンケートのほとんどの項目で、90%程度の生徒が肯定的に回答しており、授業でも前向きに取り組んでいる生徒が多く見られる。
- どの項目も6割程度の生徒が「当てはまる」、3割程度の生徒が「どちらかといえば当てはまる」と解答している。
- 「自分の考えを書いたり、共同・編集等を行う活動や多様な意見を共有しつつ話し合い活動が与えられたりしている」の項目が他の質問項目より肯定的な回答の割合が低く、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」が20%弱あった。
- 授業では、多くの生徒が授業内容を理解して真面目に取り組んでいる。ペアでの活動等は協力して取り組む一方、話し合い活動で受け身になる生徒や合唱等の表現活動で周囲の目を気にする生徒も少数ながらいる。



## 成果と課題

### 成果

- 創作活動ではタブレットを活用したことにより、苦手意識がある生徒も積極的に取り組んでいる様子が見られた。
- 器楽では、ペアやグループでの活動を積極的に取り入れ、生徒同士が学び合う場面を設定したことで、多くの生徒が自分の考えを発言し、前向きに取り組んでいる様子が見られた。

### 課題

- 授業内で自分の考えを発言する機会を増やすことで学び合いの学習をより多く設定すること。
- 多様な意見を活発に共有できるような時間を設定すること。
- 目標の提示と振り返りを設定し、生徒が意識して授業に取り組めるようにすること。

# 令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 音 楽 ） 学年（ 2 学年 ）

## 目指す授業

- 音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
- 音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。



## 授業・アンケート等の課題分析

- 多くの生徒が積極的に授業に取り組んでいる。特に合唱の授業では周囲と協力して自主的に取り組むことができている。
- 授業アンケートでは、どの項目も9割以上の生徒が肯定的に回答している反面、「他者の考えや思いを取り入れ、自分の考えを広げ深めることができる」、「授業のはじめに、目標が示されている」、「自分の考えを書いたり、共同で作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ話し合い活動が与えられたりしている」で一定数の生徒が否定的に回答している。



## 成果と課題

### 成果

- プリントや課題によって基礎基本の徹底をはかったことによって、発問に対して自信をもって発言できる生徒が増えた。
- 表現の活動では、活動時間と活動量を多く設けることで、活発に活動し、積極的な生徒がより多く見られるようになった。
- ペアやグループでの学習を取り入れ、授業の流れを定着させることで、多くの生徒が自信をもって授業に参加し、「できた」「わかった」と実感できる機会を増やすことができた。

### 課題

- 生徒の音楽的な知識や能力に個人差があるため、どの生徒にとっても興味をもて、楽しさを感じられる授業の工夫をすること。
- 常時、活動の充実を図り、音楽的な知識や経験を増やすことで、生徒一人一人の自信を深め、より積極的な姿勢を育成すること。

# 令和7年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 音 楽 ） 学年（ 3 学年 ）

## 目指す授業

- 音楽を身近に感じ、多種多様な音楽に触れ、音楽体験を通して生徒の音楽の世界を豊かにする授業。
- 音楽的な表現技術を習得・向上させ、生徒同士が高め合う授業。



## 授業・アンケート等の課題分析

- どの単元にも積極的に取り組む生徒が多かったが、1年間でさらに増加した。
- 活動内容をきちんと理解して授業に参加しているため、自主的に活動し、ペアやグループでの学び合いが円滑に進められた。



## 成果と課題

### 成果

- 合唱を中心として、生徒が考え、演奏を作り上げる活動を取り入れることで、多くの生徒が学ぶ楽しさを感じることができた。
- 幅広い音楽の種類を扱い、生徒にとって身近な楽曲を教材として使用することで、音楽の表現の豊かさを実感し、卒業後も音楽に親しみたいと考える生徒が大多数を占めている。

### 課題

- 苦手意識のある生徒も「できた」と達成感を感じる授業プランを工夫すること。
- 活動を通して音楽的な知識の定着ができるような授業の工夫をすること。